



令和2年度千葉県獣医師会獣医学術年次大会

市民公開講座 オンライン配信 **無料**

野生獣と人獣共通感染症の現状と課題

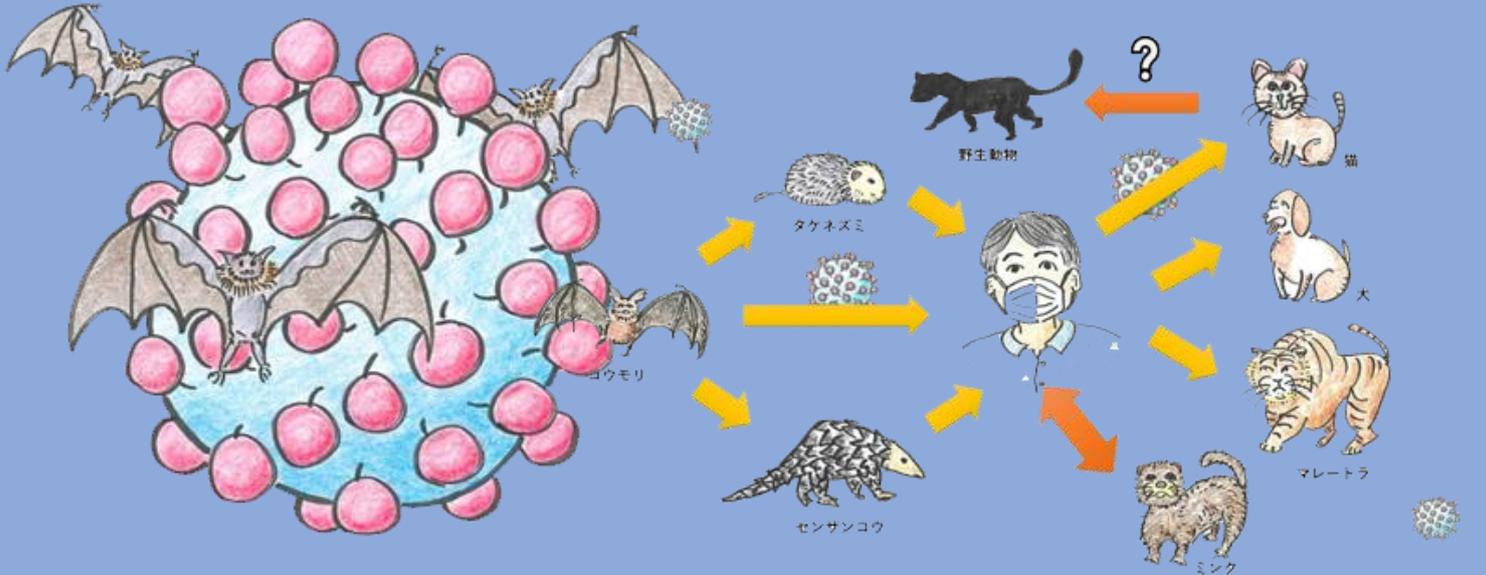
～新型コロナウイルスを中心に～



東京農工大学農学部

附属国際家畜感染症防疫研究教育センター (CEPiA)

センター長 **水谷 哲也** (みずたに てつや)



2021年3月14日(日) 13:00~14:30【Zoomウェビナー】; 定員500名(先着順)

配信用 URL: <https://zoom.us/j/92266063131?pwd=eDY1UUUpwWHhibkw1SzJLSUhYdWpkZz09>

ウェビナーID: 922 6606 3131 パスコード: 654820

QRコードからも参加できます。(ZOOMアプリのインストールが必要です)



新型コロナウイルスの世界的な感染拡大がとまりません。

現在は人から人へ感染していますが、もともとこのウイルスはコウモリや野生動物から人に感染してきた人獣共通感染症です。

そして、現在は人から伴侶動物へ感染し、ミンク農場で変異したウイルスが人に感染した事例もありました。

さらに、アメリカでは野生のミンクからも新型コロナウイルスが検出されています。豚熱では野生の猪への感染が清浄国への復帰を妨げています。

新型コロナウイルスにおいても野生動物における蔓延は終息を遅らせることとなります。このことは私たち獣医学に携わる者の仕事です。さらに重症熱性血小板減少症候群ウイルス(SFTSV)も北上を続け静岡県まで侵入してきました。SFTSVが関東に侵入する日はそれほど遠くないかもしれません。

講演では私たちの研究センターの新型コロナウイルスやSFTSVの取り組みをご紹介します。どのようにこれらの課題を克服すべきかについて解説いたします。

【お問い合わせ先】 公益社団法人 千葉県獣医師会事務局

〒260-0001 千葉市中央区都町 6-2-15 TEL.043-232-6980 FAX.043-232-6986 E-mail. info@cpvma.com

主催: (公社)千葉県獣医師会

後援: 千葉県・千葉市・(公社)千葉県医師会・(公社)日本動物病院協会・(公財)千葉県動物保護管理協会・全国農業協同組合連合会千葉県本部・千葉県農業共済組合・全農家畜衛生研究所・(株)科学飼料研究所・千葉県愛玩動物協会

協賛: (公社)千葉県畜産協会・千葉県動物薬品器材協会